

からくり新聞

2017年12月発行 からくり新聞第53号 編集:岩原真実
〒250-0055 神奈川県小田原市久野3764-9 からくりクラブ事務局
TEL 0465-32-3631 FAX 0465-32-3634 E-mail: info@karakuri.gr.jp

早いもので、2017年も残すところ僅かとなりました。何かと気ぜわしい師走。皆様いかがお過ごしでしょうか？
今号では、9月以降に開催されたイベントを掲載します。少しずつのご紹介ですが、お楽しみ頂ければ幸いです。

からくりパズルを楽しむ会 (KPH7) 開催報告

会期：2017年9月17日(日)、18日(月・祝)

場所：小田原市内各所

小田原・箱根「からくりパズル」を広める会主催の「からくりパズルを楽しむ会」が今年も開催されました。小田原市内各所で2日間に渡って行われた各企画について、少しずつご紹介します。

◆ 1日目 9月17日(日) ◆

大人のための工作教室 場所：HaRuNe小田原ハルネ広場

今回皆さんに作っていただいたのは「おさるのかごや」です。講師は川島英明が務めました。この工作キットは、「星夜の散歩」というからくり箱を元に、この教室のために特別にアレンジして開発された物です。

小田原といえば、お猿の駕籠屋。この箱の「からくり」を解くカギとなるのは、その駕籠がデザインされた「コマ」。そして天板には、小田原城から箱根までの旅路のイメージがデザインされています。お猿の駕籠を無事に箱根関所まで運ぶことができるとフタが開くという仕掛けになっています。

仕掛けには磁石が使われているため、磁石を利用した他の作品について亀井が解説をするなど、途中でトークをはさんでの教室となりました。



解説する亀井(左)
右は講師の川島 →

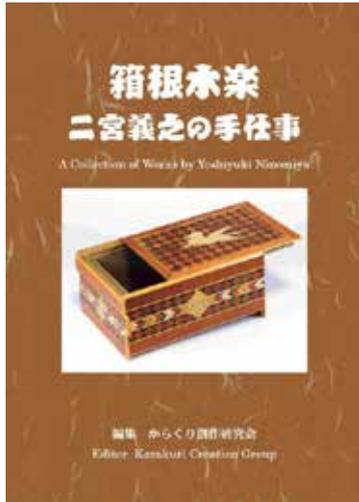


「おさるのかごや」



毎年海外からの参加者もいらっしやいます。このイベントのためにわざわざ来日された皆さんにも少しでも多く楽しんで頂けるよう、スタッフ・職人一同、お迎えしました。

海外からの参加者の皆さん →



↑ 二宮義之作品集 表紙

既にお持ちの方も多いかと思いますが、からくり創作研究会は2017年5月にメンバーであり箱根細工職人である二宮義之の作品集を出版しました。70年に渡り創作活動を続けてきた二宮の作品を可能な限り網羅した、記念すべき作品集です。

この日は、二宮本人と主に編集に携わった岩原宏志が登壇し、スペシャルなトークショーが開催されました。まずは、二宮の職人としての歴史について様々な話をした後、更に平野良明さんが登壇。平野さんは、二宮作品を広く世界に広めるきっかけとなった伝説のお店「コスモ物産」の店主です。二宮と平野さんの長いお付き合いの歴史の話も含め、ここでしか聴く事のできない、貴重な貴重なトークショーとなりました。

終了後には、作品集をお持ちの方限定のサイン会も開催され、順番を待つ皆さんが長い列を作っていました。



↑ 壇上左から、平野良明さん、二宮、岩原。コスモ物産のお話をされているところです。

会場には二宮の作品が数点展示され、触っていただけるようになっていました。これまた超貴重！！ →



↑ 写真：上 サインに応じる二宮
写真：下 会場となったハルネ広場の周りをぐるっとサイン待ちの方が並んでいます。並んでくださった皆さんのために、二宮はお手製の寄木しおりのプレゼントを用意していました。皆さん、ご参加ありがとうございました！

ところで

この作品集の表紙ですが、背景の色に「あっ！」と思われた方もいらっしゃるはず。この茶色の背景は二宮が自身の作品を入れるための化粧箱に使っている紙なのです！

印刷にあたっては何度か色校正を行い、できる限り忠実にその色を再現できるようにしました。まだお持ちでない方は、ぜひ！（からくり創作研究会 Webショップから、またはお電話等で承ります。）

交流会 場所：小田原駅近く

参加者の皆さんお待ちかねの交流会！
「やっぱりこれがないと〜。」という方も多いようで（笑）
毎年たいへんな盛り上がりです。美味しい料理にお酒があれば、自然と会話も弾みます。どのテーブルにどの職人が座るかは、始まってからの楽しみ！
皆さんの楽しそうな様子をご覧ください。

日本の居酒屋は
いかがですか？



乾杯は二宮です。
「かんぱ〜い！」



満面の笑み！
楽しそうです。

そして、イベントは2日目へと続きます…。
飲み過ぎ注意（笑）！

◆ 2日目 9月18日（月・祝） ◆

プレミアム・ツアー 場所：小田原市板橋地区

2日目は事前にご予約いただいた方限定のイベントです。
今年は小田原市内でも歴史的風情のある場所として知られる板橋地区にて開催です。主な会場となったのは「内野邸」。板橋地区を代表する建築です。明治36年(1903)に醤油醸造業を営む内野家の住居兼店舗として建設されたそうです。当時流行していた土蔵造り風の町屋で、「なまこ壁」や「石造アーチ」など、和洋折衷の様式が取り入れられた貴重な歴史的建造物です。まずは、建物の見学から。



↑まず最初に記念撮影！
並んでくださ〜い！



旧東海道沿いにある内野邸。この道の1本左に、国道1号線が位置します。雰囲気のある、ステキな建築物です。

★ OTA MOKKO (太田木工) 見学

内野邸の見学の後は、歩いてすぐの所にある寄木細工職人・太田憲さんの工房兼店舗「OTA MOKKO」へ。太田さんは小田原・箱根で活動する若手寄木細工職人の一人。丁寧な案内に、皆さん興味津々でした。



← 工房について説明中の太田憲さん



↓ 太田さんの作品



↑ 海外のお馴染みさんと二宮・亀井

★ 新作発表会 & 特別販売会

内野邸に戻り昼食を済ませた後は、お待ちかねの販売会！まずは、職人それぞれに新作の発表です。この日のために製作された最新作が勢揃いし、各職人が作品についての思い・仕掛け等の説明を行います。その後は皆さんと直接やり取りをしながらの販売会です。世界広しと言えど、この時この場に居合わせた人だけが、最新作をどこよりも早く手に入れる事ができるのです！



↑ それぞれの新作を発表する職人。熱い思いは伝わったでしょうか？



↑ 販売が始まると、皆さんお目当ての作品に直行！熱気でカメラのレンズが曇り気味に…。欲しい作品は手に入りましたか？

★ 作者と語る展示会

次に開催されたのは、作者と語る展示会。職人それぞれに趣向を凝らした展示を準備してお迎えしました。



亀井は仕掛けの種類毎に、代表作を展示。↑ 例えば、重力で開く(=サイコロ)、衝撃により開く(=タマゴ)など。ここで手にしているのは、遠心力で開く作品。



↑ 岩原は「伝承作り秘密箱」の匏の作業を実演。二宮の伝承作り秘密箱の再現に挑戦し、新作発表会にてお披露目しました。二宮も実演を見守り、解説を加えます。

★ 持ち寄り販売会

作者と語る展示会の後は、参加者の皆さんに持ち寄っていただいた物を販売する「持ち寄り販売会」です。この企画が初めて実施された前回、果たしてどのくらい品物を持ち寄っていただけるのか？心配もありましたが、始まってみれば「こんなに?!」と驚く程の品々。今回もたくさんの品々をお持ちいただきました。参加者の皆さんの、お気に入りを探すがキラキラと輝いていて、会場は熱気に溢れていました。持ち寄っていただいた皆さん、ありがとうございました！！

実はこの写真、皆さんの熱気でカメラのレンズが曇っているのです！ →



さてさて、販売会の熱気が残りつつも、これにて今年の「からくりパズルを楽しむ会」は終了です。タクシーに乗り込み小田原駅まで行き、解散となりました。歴史的建築内でのイベントということで、いろいろご不便をおかけした場面もあったかと思いますが参加者の皆さんの楽しそうな顔を拝見すると、今年も頑張った良かった！と、スタッフ・職人一同心地良い疲れを感じます。

最後に、今年の参加者限定スペシャルプレゼントの紹介！ →

羽の部分に使われているのは、見学していただいた OTA MOKKO の太田さんの寄木です。作品には、限定品を示す「KPH7」の刻印がしっかりと刻まれています。

ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました！
また来年もお楽しみに！

「BIRD」



SATOYAMA & SATOUMI 秋キャンプ in 小田原 出展！

会期：2017年10月9日(月・祝)

場所：小田原アリーナ

「SATOYAMA&SATOUMImovement2017実行委員会」主催（共催：小田原市）で、全国各地にて開催されているイベントが小田原にやってきました。ハロー！プロジェクトやアップルフロントグループ所属のタレントさんらが出演ということで、全国からたくさんのファンの皆さんが小田原アリーナに大集合しました。

「場違いでは？」と思われるこのイベントにからくりも参戦！予想通り(?)タレントの皆さんの魅力に惨敗するも、いろいろ楽しいイベントとなったのでした。



↑熱気むんむんでした。

←ステージでは、からくり箱
早開け競争も！

角田 遥 金沢にて個展開催

会期：12月8日（金）～18日（月）
場所：Collabon コラボン（石川県金沢市）

からくり創作研究会メンバーの角田が、金沢で個展を開催しました。（研究会Webサイトにてご案内）角田は学生時代を金沢で過ごしているため、友人や知人も多い、慣れ親しんだ街での個展となりました。からくり創作研究会からは、亀井が代表して訪問！夜は2人でカニを堪能しようと店に入るも、直前に売り切れていてありつけなかったとか…。



← 趣ある会場です。奥にはカフェも併設されていてゆったりできそうな場所です。



↑ 会場の風景。会期中角田は金沢に滞在し、会場にもほぼ毎日詰めていました。途中寒波がやってきて降雪があったりと、冬の北陸らしい風情を楽しむこともできたようです。

クリスマスプレゼント発送作業！

毎年12月と言えば、クリスマスプレゼントの発送作業です。皆さんのお手元に無事お届けすべく、職人・事務員総出で作業にあたります。無事お届けできたでしょうか？そして、お楽しみいただけたでしょうか？「今年のお作品、気に入っていただけたかな？」と、受け取られてからの皆さんの反応を想像しながら、毎年年末を迎えます。



← 発送に使う予定の段ボール箱の山です。

↑ 亀井自ら、梱包用の新聞紙を丸める作業です。

↑ 間違いがないか伝票と作品を確認します。

からくり新聞53号は以上です。お読みいただきありがとうございました。間もなく2018年がやってきます。1年があっという間ですね。今年も皆様にご愛顧いただき、職人・事務員一同、心より御礼申し上げます。これからも、皆様楽しんでいただける作品作りを目指して、製作に励んで参ります。

1月中旬にはクリスマスプレゼントの解答と一緒に更新のご案内をお送りいたします。来年も宜しく願いいたします！※12月28日（木）～1月3日（水）は年末年始休業となります。

1年間ありがとうございました！皆様、良いお年をお迎え下さい！